

Q 停電すると駅は真っ暗になるのでしょうか？

A 避難口誘導灯や非常灯が点灯するので、
真っ暗になることはありません。

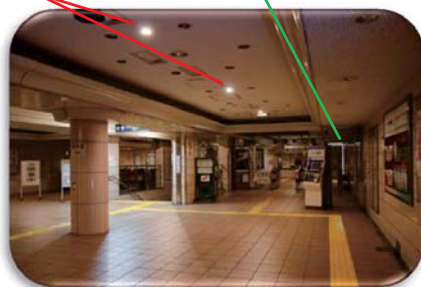
地下駅の電源系統は2系統以上を確保していますので、1つの変電所が停電しても隣接する別の変電所から送電できますので、駅は真っ暗になりません。

また万一複数の変電所で停電が発生しても、各駅に設置している蓄電池により非常灯が点灯し、バッテリー内蔵型等の避難口誘導灯が点灯するので、駅が突然、真っ暗になるようなことはありません。

床面の主要部分において1ルクス以上の照度を確保しています。



通常時



停電時

駅改札口付近の照明状態
(谷町線 谷町六丁目駅)

非常灯

避難口誘導灯



通常時



停電時

駅ホーム階の照明状態
(谷町線 谷町六丁目駅)

非常灯

避難口誘導灯

Q ゲリラ豪雨で浸水しないのですか？

A 止水パネルを設置することで大丈夫です。

大阪市は全体的に土地の標高が低く、大阪湾や淀川・大和川の水位を参考にして浸水防止対策上の設計水位を定めています。

地下鉄で問題となるのは、出入口などの開口部や地下街などの接続箇所からの浸水で、これに対して止水パネル(または止水シート)や止水扉を設けております。さらに、線路が地上から地下に入るトンネル入り口にも止水扉を設け、浸水があっても被害を最小限にとどめます。



止水シートの設置状況
(中央線 谷町四丁目駅)



止水パネルの設置状況
(中央線 谷町四丁目駅)



トンネル入り口止水扉
(大日検車場)